

目 次

第1章 総説

1 沿革	1
2 施設の概要	1
3 組織及び業務内容	2
4 歳入歳出予算	6
5 主な試験検査機器	7

第2章 業務の概要

1 企画情報部	9
2 保健科学部	12
3 衛生科学部	14
4 環境科学部	16
5 地球科学部	18
6 検査部	20

第3章 研究報告

1 研究体系(平成17年度)	21
2 研究概要報告	23
3 研究課題の外部評価	53
4 資料	
(1) 廃棄牡蛎殻の環境浄化への活用	63
小向隆志 佐々木陽 瀬川晃児	
(2) 感染症発生動向調査事業における病原体検出状況	66
高橋朱実 松舘宏樹 藤井伸一郎 佐藤卓 齋藤幸一 蛇口哲夫	
(3) 水道水源における農薬類の実態調査	71
菅原隆志 三浦利通 小向隆志	
5 学会等発表抄録	
(1) ASSESSMENT OF THE FEASIBILITY TO HAIR-TRAP TECHNIQUE OF ASIATIC BLACK BEAR IN TONO CITY, JAPAN	75
山内貴義	
(2) LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(21)	75
江原均 盛田宗利 田原るり子 佐々木和明 齋藤憲光 田辺顕子	
茨木剛 川田邦明 長谷川敦子 上堀美和子 今村清 古武家善成	
中野武 劔持堅志 浦山豊弘 古谷典子 澄田和歌子 鈴木茂	
(3) GC-ICP/MSによるポリブロモジフェニルエーテルの分析について	76
八重樫香 嶋弘一 安部隆司 中南真理子 齋藤憲光	
(4) LC/MSによる環境水中のフェニトインの分析法について	76
鎌田憲光 佐々木和明 嶋弘一 齋藤憲光	
(5) 酵母Two-Hybridアッセイ法を用いた環境試料中のエストロゲン活性	77

	高橋悟	
(6)	酵母Two-Hybridアッセイ法を用いた大気試料中のエストロゲン活性	77
	伊藤朋子	
(7)	日本における有機フッ素化合物の汚染	78
	齋藤憲光 佐々木和明 八重樫香 金一和 原田浩二 小泉昭夫	
(8)	岩手県における家庭部門CO ₂ 排出削減努力の評価	78
	工藤浩 大村博之	
(9)	小規模事業所を考慮した民生部門業務における市町村別CO ₂ 排出量の推計	79
	工藤浩 中口毅博 三浦秀一	
(10)	市町村における温室効果ガス排出量推計および温暖化防止政策立案手法に 関する研究	79
	工藤浩 中口毅博	
(11)	高機能性木炭の開発と環境浄化の可能性について	80
	佐々木陽	
(12)	構造部分別コーンコブから調製した炭化物とその界面活性剤吸着特性	80
	佐々木陽 モハマドハスヌル	
(13)	金属イオン共存下で調製したカルシウム塩担持炭化物の特性	81
	佐々木陽 柴崎瞳	
(14)	Characteristics of Charcoal Obtained from Waste Plywood Panel for Concrete Form	81
	佐々木陽 岩淵文	
(15)	Adsorption Characteristics of Charcoal Obtained from Corncobs	82
	佐々木陽 モハマドハスヌル	
(16)	「市町村健康増進計画」策定における振り返り調査から	82
	笹島尚子 田沢光正 小野償子	
(17)	学校保健と連携した生活習慣把握システム～健康日本21 地方計画推進・評価に向けて～	83
	小野償子 互野裕子 笹島尚子 田沢光正	
(18)	TRC法によるノロウイルスの検出	83
	齋藤幸一 西川眞 田村務 藤井理津志 濱野雅子 益田昇佳 林俊典 川本尋義	
(19)	岩手県内で分離された腸管出血性大腸菌のDNA解析及び 薬剤感受性について	84
	藤井伸一郎 松館宏樹 高橋朱実 佐藤卓 齋藤幸一 蛇口哲夫	
(20)	LC/MS/MSによる農作物中の残留農薬分析	84
	畠山えり子 梶田弘子 佐々木陽 高橋悟 菅原隆志 小向隆志	
(21)	限外ろ過法を用いたLC/MS/MSによる残留農薬一斉分析	85
	畠山えり子 梶田弘子 佐々木陽 高橋悟 菅原隆志 小向隆志	
(22)	ELISAキットによるクロチアニジン残留分析	85
	畠山えり子 梶田弘子 中野亜弓 折坂光臣	
(23)	LC/MS/MSによる残留農薬一斉分析について	86
	梶田弘子 菅原隆志 畠山えり子 小向隆志	

(24)LC/MS/MSによるニトロフラン類の一斉分析及び市販	86
スクリーニングキットとの比較検証	
梶田弘子 菅原隆志 畠山えり子 小向隆志 杉山英男 中澤裕之	

第4章 研究発表目録

1 学術雑誌原著論文	87
2 総説・報告	87
3 学会等での口頭発表	87
4 岩手県環境保健研究センター研究発表会	88